

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成25年4月8日（月）～4月14日（日）〔平成25年第15週〕の感染症発生状況

第15週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり8.97人と前週（8.48）より患者報告数はやや増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.97人と前週（1.67）より患者報告数は増加し、例年よりやや高いレベルで推移しています。

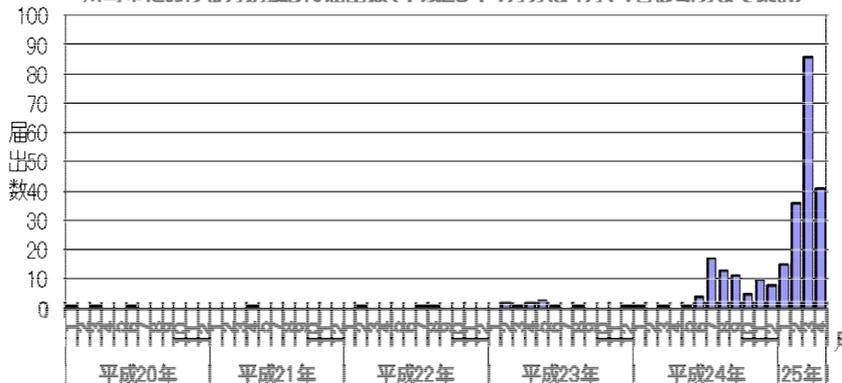
風しんの届出が15件（臨床診断例3件、検査診断例12件）あり、前週と比較すると届出数は減少しましたが、依然として非常に高いレベルで推移していますので、引き続き、発生動向に注意するとともに予防対策（ワクチン接種の検討等）の徹底が重要です。

風しんの予防接種助成を実施します！！～風しんの流行に伴う緊急対策～

風しんは、例年を大きく超えるレベルで患者数が増加しており、特に成人の男性に多くなっています。また、妊娠中の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などを主な症状とする「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる可能性があります。

そのため、川崎市では、風しん患者の重症化及び「先天性風しん症候群」の発生を予防することを目的とし、次の対象者に対して、予防接種費用の助成を平成25年4月22日から開始しますので、この機会に予防接種を御検討ください。

川崎市における月別風しん届出数(平成25年4月分は4月14日診断分まで集計)



風しん緊急対策（MRワクチン接種）の内容

対象者

川崎市民で、原則として風しんにかかったことがなく、予防接種を受けたことがない方であり、次のいずれかに該当する方については、この緊急対策により1回接種することができます。

1. 妊娠している女性の夫（児の父親）
2. 23歳～39歳の男性（昭和49年4月2日～平成2年4月1日生まれ）
3. 23歳以上の妊娠を予定又は希望している女性（平成2年4月1日以前の生まれ）

妊娠中の方は接種できません。また、接種後2か月は避妊する必要があります。



※この緊急対策に関することは、お住まいの区の区役所保健福祉センター地域保健福祉課までお問い合わせください。

接種方法

接種希望の対象者の方は、本事業協力医療機関（本市ホームページをご覧ください。）において、ワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）を2,000円程度で1回接種することができます。接種の際には、対象者であることを証明できるもの（保険証）をお持ちください。

接種期間

平成25年4月22日～平成25年9月30日（予定）